



単一レコードシート of データを 複数レコードシートに移行する

単一レコードシートのデータを複数レコードシートに移行する

概要 所属履歴や保有資格一覧など、人によってデータ量が違う情報を単一レコードシートに項目をたくさん設定していた場合に、複数レコードシートにデータを移行する方法をご案内します。

➤ データを移行するメリット

- その人が持っているデータのみが表示され余計な空欄が表示されない
- 設定項目数以上のデータを持っている人がいても項目を追加設定する必要がない
- 検索がしやすい
- 追加したいデータのみを「新規追加モード」でアップロードできる

所属履歴 (単一レコード)			
発令日1	2006/05/05	所属1	営業部
発令日2	2014/05/08	所属2	管理部
発令日3	2019/05/28	所属3	制作部
発令日4	2021/05/04	所属4	営業部
発令日5		所属5	
発令日6		所属6	
発令日7		所属7	
発令日8		所属8	
発令日9		所属9	

所属履歴 (複数レコード)	
発令日 ▲	所属 ▼
2006/05/05	営業
2014/05/08	管理部
2019/05/28	制作部
2021/05/04	営業部

単一レコードシートデータを複数レコードシートに移行する

➤ 手順

1. 移行先の複数レコードシートを作成する
2. 単一レコードシートに登録されているCSVファイルをダウンロードする
3. 1.で作成した複数レコードシートに2.でダウンロードしたデータを「新規追加モード」で複数回アップロードする

手順1. 移行先の複数レコードシートを作成する

レイアウト設定で、単一レコード形式で作成していたシートに対応する複数レコードシートを作成します。

➤ 例 所属履歴の場合

1. レイアウトパターン「複数レコード・縦型」でシートを新規追加
項目数が多く2段に分かれそうであれば横型を選択
2. シートを構成している項目（発令日、所属）を複数レコードシートに作成
このとき追加する項目は、各構成している項目に対し1つだけでよい

発令日1		所属1	
発令日2		所属2	
発令日3		所属3	
発令日4		所属4	
発令日5		所属5	
発令日6		所属6	
発令日7		所属7	
発令日8		所属8	
発令日9		所属9	

発令日		所属
-----	---	----



手順2. 単一レコードシートデータをダウンロードする

CSV入出力から、単一レコードシートデータをダウンロードします。
画像1のような形式のCSVファイルがダウンロードされます。

【画像1】

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
1	社員番号	(氏名)	(フリガナ)合計	発令日1	所属1	発令日2	所属2	発令日3	所属3	発令日4	所属4	発令日5	所属5	発令日6	所属6	発令日7	所属7	発令日8	所属8	
2	a0001	藤井 健	フジイケン	2000/4/1	営業部	2005/4/1	管理部	2010/4/1	制作部	2015/4/1	営業部	2020/4/1	制作部	2021/4/1	営業部					
3	a0002	小野 敏明	オノトシアキ	2000/4/2	営業部	2005/4/2	管理部	2010/4/2	制作部	2015/4/2	開発部	2020/4/2	営業部							
4	a0003	永岡 淳	ナガオカアツシ	2000/4/3	営業部	2005/4/3	開発部	2010/4/3	営業部	2015/4/3	開発部	2020/4/3	営業部							
5	a0004	横山 悠仁	ヨコヤマユウジ	2000/4/4	営業部	2005/4/4	開発部	2010/4/4	制作部	2015/4/4	営業部									
6	a0005	開米 小百合	カイマイサユリ	2000/4/5	管理部	2005/4/5	営業部	2010/4/5	開発部											
7	a0006	柏木 綾子	カシワギアヤコ	2000/4/6	管理部	2005/4/6	営業部	2010/4/6	制作部											
8	a0007	伊藤 太輔	イトウダイスケ	2000/4/7	制作部	2005/4/7	営業部													
9	a0008	梶沼 隆	カジヌマタカシ	2000/4/8	管理部															
10	a0009	杉山 賢	スギヤマケン	2000/4/9	制作部															

手順1で作成した複数レコードのシートにデータ登録するためには、画像2のようにCSVを加工する必要があります。
CSVアップロードの「新規追加モード」を利用することで、
CSVファイルに手を加えずアップロードすることが可能です。

【画像2】

	A	B	C	D	E	F
1	社員番号	(氏名)	(フリガナ)合計	発令日	所属	
2	a0001	藤井 健	フジイケン	2000/4/1	営業部	
3	a0001	藤井 健	フジイケン	2005/4/1	管理部	
4	a0001	藤井 健	フジイケン	2010/4/1	制作部	
5	a0001	藤井 健	フジイケン	2015/4/1	営業部	
6	a0001	藤井 健	フジイケン	2020/4/1	制作部	
7	a0001	藤井 健	フジイケン	2021/4/1	営業部	
8	a0002	小野 敏明	オノトシアキ	2000/4/2	営業部	
9	a0002	小野 敏明	オノトシアキ	2005/4/2	管理部	
10	a0002	小野 敏明	オノトシアキ	2010/4/2	制作部	
11	a0002	小野 敏明	オノトシアキ	2015/4/2	開発部	
12	a0002	小野 敏明	オノトシアキ	2020/4/2	営業部	
13	a0003	永岡 淳	ナガオカアツシ	2000/4/3	営業部	

手順3-1. 「新規追加モード」でデータをアップロードする

CSV入出力から手順2でダウンロードしたCSVファイルを、手順1で作成した複数レコードシートに「新規追加モード」でアップロードします。

所属履歴（複数レコード） テスト作成 26レコード 保存形式：複数レコード

ダウンロード 05/17 09:32 一昨日 a0001 藤井 健	アップロード 05/17 12:02 一昨日 a0001 藤井 健	バックアップ 05/19 02:01 今日 (システム自動実行)	公開API連携 実行情報はありません
--	--	---	------------------------------

CSVアップロード

所属履歴（複数レコード）

1 モードの選択 2 CSVファイルの選択 3 項目名の紐付け 4 アップロードの確認 5 受付完了

新規追加・指定行の入れ替え 指定行の削除・全入れ替え

アップロードモードを選択してください。

新規追加モード

現在登録されているデータはそのまま残り、アップロードしたデータを追加します。



指定行の入れ替えモード

現在登録されているデータに対して、社員番号の一致する行を入れ替えます。



アップロードされる社員番号は、メインコード設定の0埋め設定が適用されます。

アップロード前に現時点のバックアップを取得する

キャンセル 次へ進む >

手順3-2. 「新規追加モード」でデータをアップロードする

単一レコードシートで設定していた項目群の数量分、アップロードを繰り返します。

➤ 例 所属履歴の場合

画像3のシートの場合、項目群が9あるので9回アップロードを繰り返します。

1回目のアップロードでは発令日1・所属1、2回目は発令日2・所属2、3回目は発令日3・所属3…という形で項目の紐づけを行いアップロードします。

【画像3】

発令日1		所属1	
発令日2		所属2	
発令日3		所属3	
発令日4		所属4	
発令日5		所属5	
発令日6		所属6	
発令日7		所属7	
発令日8		所属8	
発令日9		所属9	

1回目	CSVの項目名	紐付け	カオナビの項目名
	社員番号	>	社員番号* a00
	発令日1	>	発令日 200
	所属1	>	所属 aaa

2回目	CSVの項目名
	社員番号
	発令日2
	所属2

3回目	CSVの項目名	紐付け
	社員番号	>
	発令日3	>
	所属3	>

利用シーン・応用例

➤ 利用シーン

- 保有資格一覧
取得日1、保有資格1 取得日2、保有資格2…… → 取得日、保有資格
- 受講済み研修
受講日1、研修名1 受講日2、研修名2…… → 受講日、研修名
- 家族情報
氏名1、続柄1、生年月日1、年齢1 氏名2、続柄2、生年月日2、年齢2…… → 氏名、続柄、生年月日、年齢

➤ 応用例

VOICE NOTEで業務履歴のアンケートを取る
(開始日1、終了日1、業務内容1 開始日2、終了日2、業務内容2……)



PROFILE BOOKに登録する際は複数レコードシートで「業務経歴」というシートを作成し、経験したことのある業務だけを表示する